

早期景気観測調査

【10-11月期 調査結果報告書】

令和3年12月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和3年11月15日(月)～11月30日(火)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 84件
7. 有効回答率： 63.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【10-11 月期の動き】

全体業況は▲10.7と、前期と比べて25.1ポイント増の大幅な改善。向こう3ヶ月の業況は改善の見通しであり、新型コロナウイルス感染者数減少による、経済活動の活発化を期待する企業が多数。

10-11 月期の全業種総合の業況DIは、▲10.7（前期比25.1ポイント増）と、まん延防止等重点措置が適用されていた前期（8-9 月期）と比べ、大幅に改善した。

向こう3ヶ月の先行き業況は改善する見通しであり、10 月以降の新型コロナウイルス感染者数減少による、経済活動の活発化に期待する企業が多数の中、原油価格高騰による影響を危惧する企業も出てきた。

業種別では、全ての業種で改善となった。

製造業の業況DIは29.4（前期比45.2ポイント増）と3 期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI ○悪化⇒仕入単価DI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

建設業の業況DIは▲37.5（前期比6.2ポイント増）と3 期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、従業員DI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは▲29.4（前期比8.1ポイント増）と3 期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは▲20.0（前期比32.6ポイント増）と3 期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

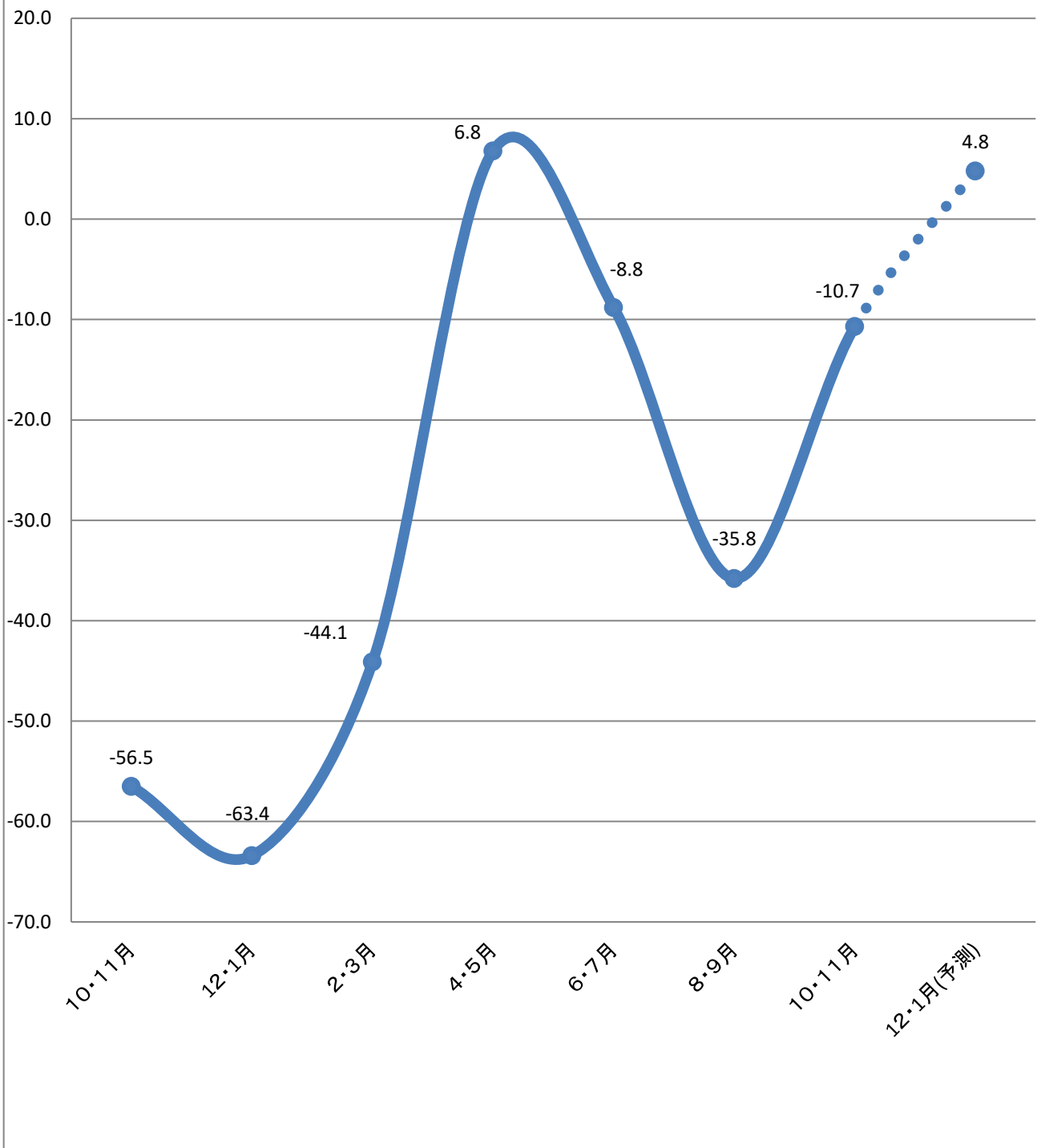
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは7.1（前期比32.1ポイント増）と2 期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI ○悪化⇒従業員DI

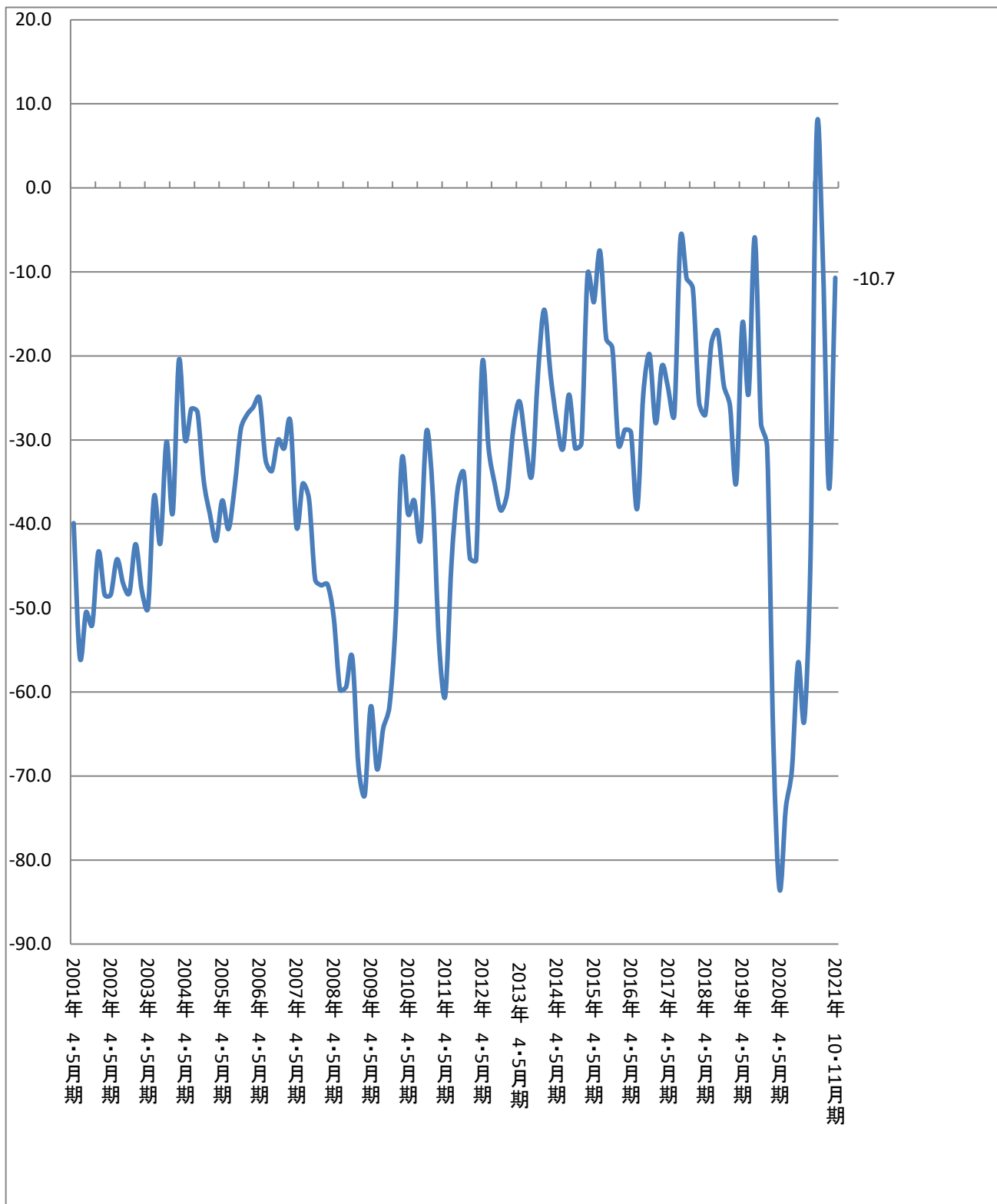
向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2021年10・11月期)

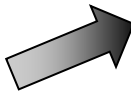

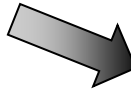




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

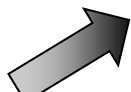

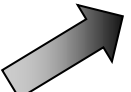



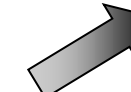
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲10. 7	4. 8	▲9. 5	▲22. 6	▲63. 1	21. 4	1. 2

10-11月期の全業種総合の業況D I は、▲10. 7（前期比 25. 1 ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒従業員D I（11. 1→21. 4）

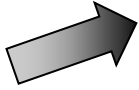
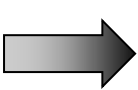
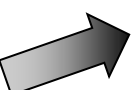
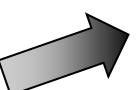



○今期より改善⇒売上D I（▲25. 9）→▲9. 5）、採算D I（▲42. 0→▲22. 6）、
金融貸出しD I（▲1. 2→1. 2）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲42. 0→▲63. 1）

向こう3ヶ月の先行き業況は、4. 8と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

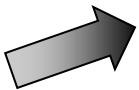
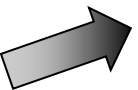
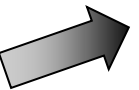
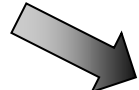

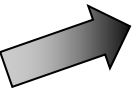
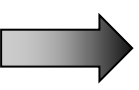
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
29. 4	29. 4	23. 5	11. 8	▲70. 6	17. 6	5. 9

業況D Iは29. 4（前期比45. 2ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

- 今期より改善⇒売上D I（5. 3→23. 5）、採算D I（▲5. 3→11. 8）、
従業員D I（0. 0→17. 6）、金融貸出しD I（▲5. 3→5. 9）
 - 今期より悪化⇒仕入単価D I（▲31. 6→▲70. 6）
- 向こう3ヶ月の業況は、29. 4と横ばいの見通し。

建設業

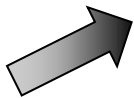
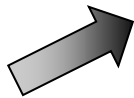
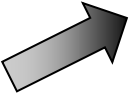
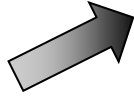
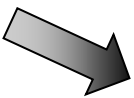
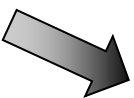
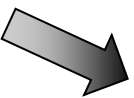
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲37. 5	▲12. 5	▲50. 0	▲50. 0	▲87. 5	25. 0	0. 0

業況D Iは▲37. 5（前期比6. 2ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

- 今期より改善⇒売上D I（▲53. 3→▲50. 0）、従業員D I（20. 0→25. 0）
 - 今期より悪化⇒採算D I（▲46. 7→▲50. 0）、仕入単価D I（▲80. 0→▲87. 5）
 - 今期より横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲12. 5と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲29. 4	11. 8	0. 0	▲47. 1	▲64. 7	23. 5	5. 9

業況D Iは▲29. 4（前期比8. 1ポイント増）と3期振りの改善となった。

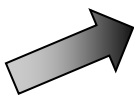
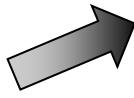
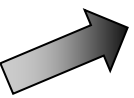
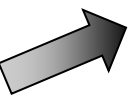
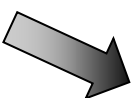
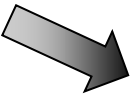
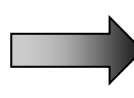
項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲25. 0→0. 0）、採算D I（▲62. 5→▲47. 1）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲43. 8→▲64. 7）、従業員D I（31. 3→23. 5）、
金融貸出しD I（6. 3→5. 9）

向こう3ヶ月の業況は、11. 8と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲20. 0	▲10. 0	▲20. 0	▲25. 0	▲30. 0	10. 0	0. 0

業況D Iは、▲20. 0（前期比32. 6ポイント増）と3期振りの改善となった。

項目別

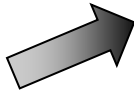

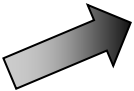
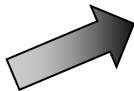
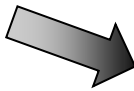
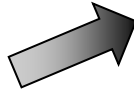
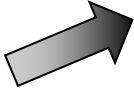
○今期より改善⇒売上D I（▲42. 1→▲20. 0）、採算D I（▲57. 8→▲25. 0）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲21. 1→▲30. 0）、従業員D I（10. 5→10. 0）

○3期連続横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）

向こう3ヶ月の業況は、▲10. 0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
7. 1	7. 1	0. 0	0. 0	▲71. 4	35. 7	▲7. 1

業況D Iは7. 1（前期比32. 1ポイント増）と改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒従業員D I（▲8. 3→35. 7）

○今期より改善⇒売上D I（▲16. 7→0. 0）、採算D I（▲41. 7→0. 0）、

金融貸出しD I（▲8. 3→▲7. 1）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲41. 7→▲71. 4）

向こう3ヶ月の業況は、7. 1と横ばいの見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

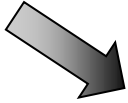
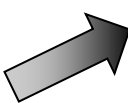
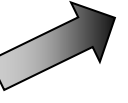
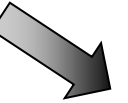
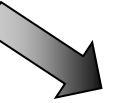
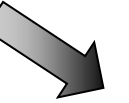
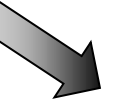
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

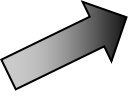
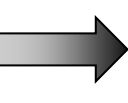
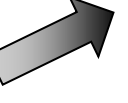
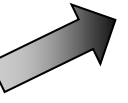
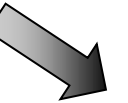
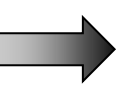
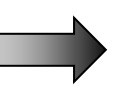
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

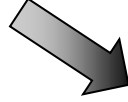
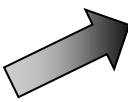
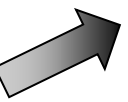
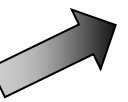
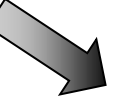
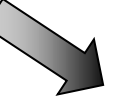
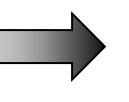
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

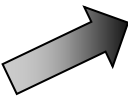
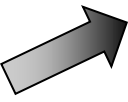
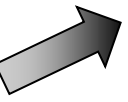
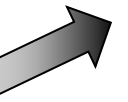
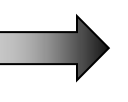
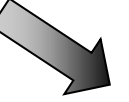
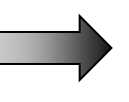
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


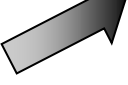


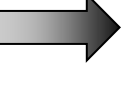

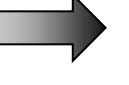
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

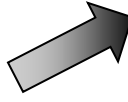

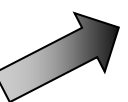
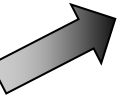

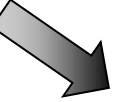
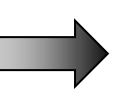
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

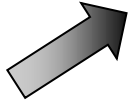
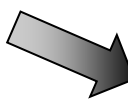
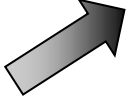
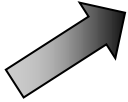
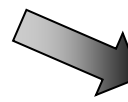
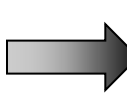
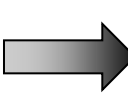
小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

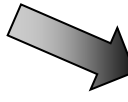
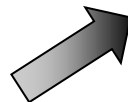
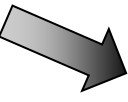
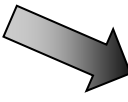
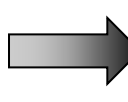
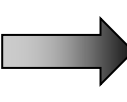
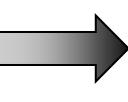
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

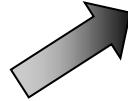
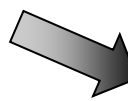
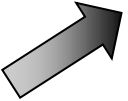
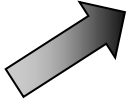
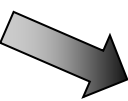

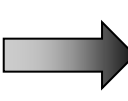
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

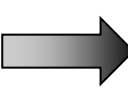
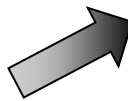
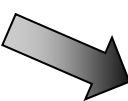
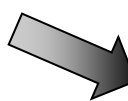
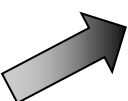
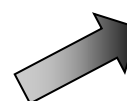
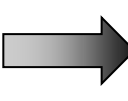
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

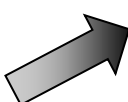
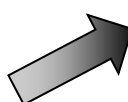
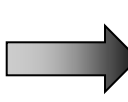
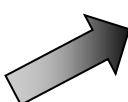

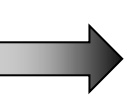
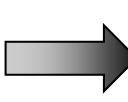
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・首都圏飲食業の時短営業撤廃や、コロナ対策の緩和等から業況は好転。加えて、プライダル業界の回復や、おせち関連出荷の増加も後押ししている。しかし、原油高等による原料価格の高騰、製造コストの上昇が懸念される。

製造業（宝飾）

- ・コロナ禍は少し落ち着いてきたが、顧客の購買意欲がなくなってしまっていると感じる。

製造業（繊維）

- ・年末が近い等、心理的要因のおかげか、店頭での顧客の購買意欲が高くなっている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・原油価格の高騰により、仕入価格が高止まりしており、採算面は厳しい状況が続いている。しかし、コロナ感染者数の減少により、観光等の動きがはじめており、年末に向けて上昇の傾向がみられるため、仕入価格の下落及び数量の拡大による採算の好転を期待している。
- ・住宅設備機器等を始めとした、商品の納期、確保が難しくなっている。

【建設業】

建設業（建築）

- ・部品、機器等の欠品が出ており、「納期も不明」であるものが増えてきた。

建設業（土木）

- ・今後、材料及び労務費の単価が上昇することは確実と考えているため、経営が厳しくなるとともに、営業方法も変えていかなければならない。
- ・外注業者単価の上昇と、資材不足による調達難により、受注に影響を及ぼしている。そのため、大型で工期が長くなる案件は、受注に慎重にならざるを得ない。

建設業（鉄鋼）

- ・原材料輸送費上昇価格を製品価格に転嫁できず、苦しい状況が続いている。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・2020年度と比較すると好転しているが、2019年度と比較すると、8割程度の回復となるので、さらなる好転を期待したい。

小売業（趣味・日用品）

- ・補聴器や医療機器にも半導体不足の影響が出始めている。

【サービス業】

サービス業（観光）

- ・集合路線においては、前々年の9割程度、高速路線においては、前々年の4~5割程度、観光バスは、前々年の6割程度に回復している。しかし、燃料費等の高騰が収益を圧迫している。

サービス業（飲食）

- ・原油の値上がり、自社に影響を与え始めている。
- ・先行きの見通しは分からないが、新年会の時期になるため、今後に期待したい。

以上